



天野天街率いる「少年王者館」が新国立劇場に初登場！



【芸術監督】小川絵梨子



【作・演出】天野天街



『ガラパゴス』撮影：羽鳥直志

【チケット好評発売中 ☎ 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999】

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

©新国立劇場 制作部演劇 広報担当 尾崎 悠

TEL: 03-5352-5738 / FAX: 03-5352-5709

E-mail: ozaki_y1019@nntt.jac.go.jp

©新国立劇場 制作部演劇 制作担当 伊澤雅子 永田聖子

TEL: 03-5352-5736



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp>

◎作品について

今シーズンより就任した小川絵梨子がファンだと公言する少年王者館が新国立劇場に初登場します。唯一無二の存在感を放つ集団のひとつ、少年王者館は愛知県名古屋市で1982年3月に天野天街氏によって旗揚げされました。以来、50本以上の作品を世に出しています。

天野氏の創り出す舞台は、郷愁と一抹の怖さが漂い、観る人の五感を揺さぶり、刺激し、高揚させずにおきません。少年王者館×新国立劇場をお見逃しなく！

◎作・演出 天野天街からのメッセージ

<少年王者館とは>

少年王者館は1982年3月に旗揚げして以来、現在に至るまで、約50本の作品を創ってまいりました。それらの作品たちに通底する姿勢は、「このセカイやこのウチュウは一体何なのだろう？」「それは、何故あるのだろう、または、ないのだろう？」という、余りにも根本的で、余りにもとりとめのない茫漠とした興味です。

「存在」してしまう「ナニカ」が醸し出す、えもいわれぬなつかしさ、気付いたりコトバにした途端、溶けて何処かに消えてしまう「未来の残り香」のような、始まりも終わりもないような、昨日と明日、彼方と此方、アナタとワタシが混じり合い、区別がつかなくなるような、すべての事象が通底しているような、「根源的郷愁」とコトバされるようなある感覚を、「エンゲキ」という器を借りて紡いで参りました。映画でもなく、読み物でもなく、音楽でもなく、ひょっとするとエンゲキでもない、しかし、エンゲキでしか絶対あらわせないナニカを、「はじまりのまえ」や「おわりのあと」まで、時空間を工夫しながら創って参りました。

<ものがたり>

1001

1、ある・0、ない・0、ない・1、ある、
あるけどない、ないけどある。

二進法に置き換えられた世界。

生死を賭けて終わりなき物語を紡ぎ続けたシェヘラザードの話法を借り、少年王者館が今まで吐き出した数々のエレメントを、攪拌させ、混沌させ、融合させ、分裂させ、物語の中の物語の中の物語の中の物語の中に詰め込んで、ヒトのまばたく間に現出させる、魔法のような、量子論的千夜一夜物語。

天野天街

◎スタッフプロフィール

天野天街 (AMANO Tengai)

少年王者館主宰、1960年生まれ、愛知県一宮市出身。82年に劇団少年王者(85年に少年王者館と改称)を旗揚げ、同劇団の主な公演で作・演出を務めるほか、92年には澁澤龍彦の遺作『高丘親王航海記』を野外劇化して各界の注目を集める。愛知県文化振興事業団プロデュース公演『大熊猫中毒』演出(作:半澤寧子)、人形劇団むすび座公演『夜叉ヶ池』脚本・演出、流山児★事務所公演『SMOKE～LONG VERSION～』演出(作・音楽:ケラリーノ・サンドロヴィッチ)、『田園に死す』演出(原案:寺山修司)、『西遊記』脚本・演出、など外部団体での演劇活動の他、小熊ヒデジ・寺十吾によるKUDAN Project公演では作・演出を担当し、『劇終/OSHIMAI～くだんの件』『真夜中の弥次さん喜多さん』(原作:しりあがり寿)は中国・フィリピン・マレーシアなど海外でも上演している。2013年にはパルコ劇場プロデュース『レミング～世界の涯までつれてって～』(演出:松本雄吉)にて上演台本を担当、15年再演時には一部演出を担当。演劇以外の分野においても、ポスターデザイン・装丁・イラスト・エッセイ・短編映画監督など多方面に渡る活動を続けている。

◎公演概要

【タイトル】 少年王者館 「1001」

【スタッフ】

作・演出:天野天街

美術:田岡一遠 / 美術製作:小森祐美加、岡田 保 / 映像:浜嶋将裕 / 照明:小木曾千倉

音響:岩野直人 / 振付:夕沈、池田 遼 / 音楽:珠水 / 衣裳:雪港 / 小道具:る

演出助手:山田 翠 / 舞台監督:大垣敏朗

芸術監督 小川絵梨子

主催 新国立劇場

【キャスト】

珠水 夕沈 中村榮美子 山本亜手子 雪港 小林夢二 宮璃アリ

池田遼 る 岩本苑子 近藤樺楊 カシワナオミ 月宵水

井村 昂

寺十 吾 廻 飛呂男 海上学彦 石橋和也 飯塚克之

青根智紗 石津ゆり 今井美帆 大竹このみ 奥野彩夏 小野寺絢香 小島優花

小宮山佳奈 五月女侑希 相馬陽一郎 朝長愛 中村ましろ 新田周子 一楽

野中雄志 長谷川真愛 坂東木葉木 人とゆめ 深澤寿美子

【会場】 新国立劇場 小劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2019年5月14日(火)～26日(日)

【料金】 A席6,480円、B席3,240円、Z席1,620円(税込)

【チケット申し込み・お問い合わせ】※一般発売:2月16日(土)10:00～

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

* **【Z席1,620円】** 公演当日10時よりボックスオフィス窓口で販売。1人1枚。電話予約不可。* **【当日学生割引】** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。* 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。